

実績報告の  
テーマごとに作成してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	小金井公園ハイジ保育園
----	-------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生き物

<テーマの設定理由>

・ 保育園の敷地内に柚子の木があり、そこにアゲハ蝶が卵を産みに来ていた。興味を持った子どもがクラスの子どもたちと飼育を始めた。3年前から飼育しているカブトムシやクワガタの餌やりから命を大切にする気持ちを育む。  
・ 虫などの生き物を通して命との関わりに気づき、生き物や友だちに優しく関わる事が出来るようになること。

2. 活動スケジュール

・ 令和7年4月～令和8年3月  
・ 導入として興味関心を育てるため紙芝居を使う。  
・ 5月アゲハ蝶の卵と幼虫を飼育する（3.4.5歳児）  
・ 7月カブトムシが幼虫になる（3.4.5歳児）  
・ 3月まで越冬しているクワガタの餌やり（3.4.5歳児）  
・ 4月15日公園のアリと触れ合う。気をつけて触れ合っているつもりだが力加減が難しく潰してしまう子も（2歳児）  
・ 5月ダンゴムシと触れ合う。硬いからだのため潰さず触れ合うことが出来た（2歳児）  
・ 7月9日カブトムシと出会う。触りたいが動くと手を引っ込めてしまう。カブトムシが飛び立ったことで怖がり涙する子も（2歳児）  
・ 8月5日カブトムシと触れ合うのが苦手な子もいたので、無理に触れ合わずとも楽しめるように紙コップでおもちゃのカブトムシとクワガタを作る活動を行う（2歳児）  
・ 8月8日おもちゃのカブトムシとクワガタにマジックテープで保育室の柱に自由に取付けて遊べるようにした。（2歳児）  
・ 8月11日セミの抜け殻を拾う。大きさや形が違っていることに気がつく（2歳児）  
・ 通年通して小金井公園へ散歩に出かけた際に虫探しを、ダンゴムシやバッタ、蝉、蟬の抜け殻、蝶などの虫を観察し、考察する。（2.3.4.5歳児）

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・絵本からアゲハ蝶やカブトムシの飼育方法を知る。(3.4.5 歳児)
- ・好きな時に観察できるよう、いつでも見られる場所に置き、触りたい子は触れるようにした。(3.4.5 歳児)
- ・聴診器や顕微鏡を使って心臓や植物の音を聞いたり、体の表面を観察できるようにした。(3.4.5 歳児)
- ・芋虫がさなぎになる時、お尻から茶色い液体が出るのを見て→「茶色いのでた、もうすぐさなぎになる合図だね」(3.4.5 歳児)
- ・小金井公園で見つけた虫を公園でよく観察したり、園で、図鑑や紙芝居からそれぞれの虫についての探求を深めた。(2.3.4.5.歳児)
- ・小金井公園の自然豊かな環境をくまなく楽しめるように、季節や出会いたい生き物によって散歩先を設定した。(2 歳児)
- ・保育者が知らない生き物もいたのでその日のうちに調べ、子どもが興味を持てるように保育室の本棚に対象の図鑑を設置したりパソコンで調べたものを掲示したりした。(2 歳児)



#### 4. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・蝶の飼育では小さかった幼虫が日々大きくなり、黒色から緑色に変化することに気付いたり、さなぎから羽化すると動かないで羽を乾かし、乾くと飛び立つなど普段では経験できない貴重な経験をすることができた。(3.4.5 歳児)
- ・虫の飼育は3・4・5・歳児の当番が餌やりやマットを霧吹きで湿らせるなどの世話をを行った。年長児がお手本になり、年中児や年少児が教えてもらって覚えるなど、子ども同士のやり取りを見守っていた。譲り合ったり思いやりの気持ちを持って接する姿も見られたのでよかった。(3.4.5 歳児)
- ・子どもたちは保育者が思っている以上に生き物について興味津々で関わろうとし、疑問に思ったりよく見たりしていた。子どもたちの疑問や興味関心を広げられるように関わったり図鑑やパソコンで調べたことを共有したりするとどんどん吸収していった。(2 歳児)